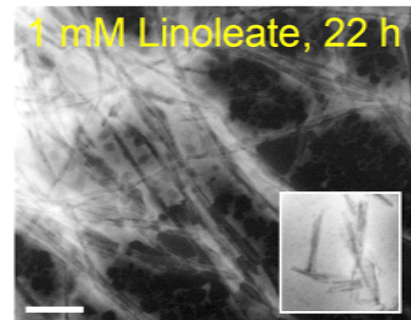
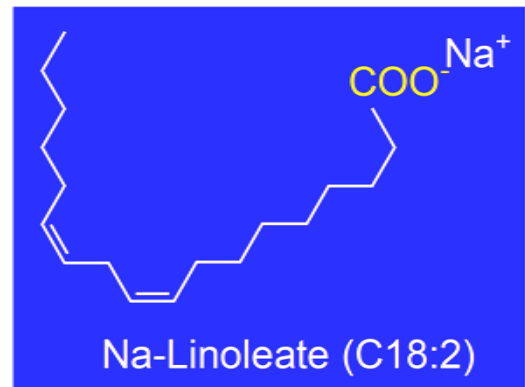
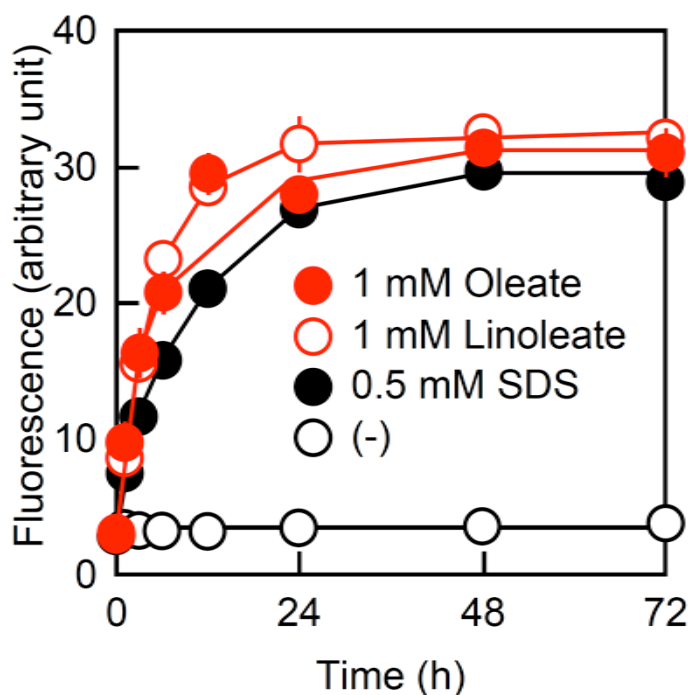


生体脂質はβ2-ミクログロブリンアミロイド線維の試験管内形成を促進する

研究分担者：福井大学医学部分子病理 内木 宏延

図. 遊離脂肪酸による中性pHでのβ2-mアミロイド線維の伸長反応誘導



解説

1. β2-ミクログロブリンアミロイド線維は長期血液透析患者の骨関節組織に沈着し、透析アミロイドーシスを引き起こす。
2. われわれは、遊離脂肪酸やリゾリン脂質などの生体脂質分子が、生理的条件下でのβ2-ミクログロブリンアミロイド線維形成を促進する事を発見した。
3. これらの知見は、透析アミロイドーシスの発症に脂質代謝動態が密接に関係する事を示唆している。